

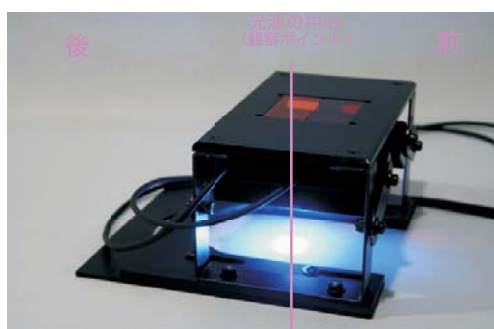
実体顕微鏡用 蛍光ユニット BT-ExSM OP 取扱説明書

本蛍光ユニットには、Blue(485nm)とGreen(530nm)が標準搭載されております。
ベースプレートとサンプルステージが固定されますので、LEDユニットを前後にスライドすることで
サンプルを中心として励起光源の切り替えが行えます。



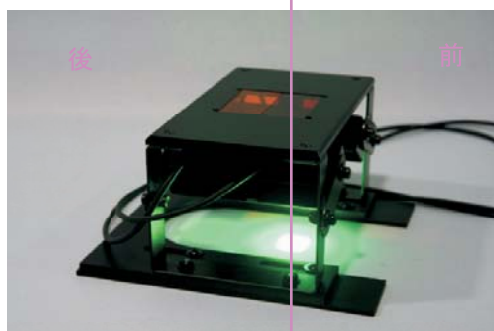
付属のACアダプターをスイッチBOXに接続します。
スイッチの左右でBlue(485nm)、Green(530nm)が切替できます。

本体裏側に、粘着性シリコンが付いております。
実体顕微鏡ステージに簡単に固定できます。



実体顕微鏡へのセット

- 1、Blue(485nm)を点灯します。
- 2、蛍光ユニットを顕微鏡に乗せます。
- 3、LEDユニットを一番後ろ側へスライドします。
- 4、照射位置を接眼で確認しての中心に合わせます。
- 5、検体をサンプル台に乗せます。
- 6、接眼レンズで検体が中心に見えるように蛍光ユニットを動かして合わせ、本体を抑えるようにして粘着性シリコンで固定します。
- 7、顕微鏡ズームで大きさを合わせて観察してください。



励起光源の変更

- * 励起光源の変更は、スイッチBOXの左右で切り替えができます。
- * ベースプレートとサンプルステージが固定されております。
- * Blue(485nm)は、LEDユニットを後ろ側へ押し込んで使います。
- * Green(530nm)は、LEDユニットを前側へ引き出して使います。
- ・ サンプルの位置を変えることはありませんので2色撮影の重ね合わせ用の画像として使えます。

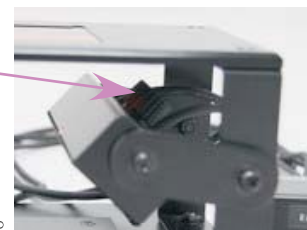


各種調節

LEDユニットは、2軸の角度可変が可能です。
左右方向で適切な角度に調節を行ってください。

光の大きさも変えることができます。
LEDユニット後ろの調節ノブを回転することで変更できます。

光源ズーム調節ノブ



ご不明なことがございましたら、弊社担当までご連絡ください。